

代表質問通告表

令和7年第1回始良市議会定例会（3月4日）

1. あいら敬愛会 岩下 陽太郎	1. 施政方針について	今定例会に市長より令和7年度の施政方針が示された。今回示されたものは、総合計画に掲げられた内容に沿ったものであり、それが計画通りに進むことを私たちあいら敬愛会は期待している。 その中で、あいら敬愛会が考える施策との整合性や確認したい内容について、以下を問う。 （1）高等教育機関の誘致と連携したまちづくり 当初、看護系の短期大学から始まった高等教育機関設置という事業は、現在は高等教育機関の誘致となり、今年4月に1つの成果となる予定である。紆余曲折あったが、市長が一貫して「高等教育機関を始良市に」という思いが形にできたことに、まずもって敬意を表したい。 しかしながら、「通信教育部」では若者の出入りが増えるわけではない。今回の岡山理科大学通信教育部情報理工学部始良サテライトキャンパスは、公約の方向性と合致しているのか。また、公約達成の第一歩と捉え、これからも高等教育機関の誘致活動を推進していくのか。 （2）スポーツでにぎわうまち これまでのスポーツ活性化策に加え、スポーツを通じた交流人口・関係人口の増加を図っていきたいとあり、様々なトップチームの選手による試合やイベントを増やしていこうとの意図を感じるが、具体的な計画等があるのか。 また、観光や交流人口増加対策としての意味合いが大きくなると、教育部保健体育課では対応が難しいと考えるが、どのように業務を行っていく予定なのか。 さらに、交流人口や関係人口の更なる増加を目指す取組として、スポーツだけでなく文	市長 教育長
-----------------------------	--------------------	---	-------------------

		化を付け加える考えはなかったのか。 (3) 市民参加型のまちづくり 市民に市政やまちづくりに参加してもらうためには、自治意識の啓発が必要であると考えるが、どのような取組を行うのか。具体的施策、または計画を示せ。 (4) 人口8万人を目標 これまで始良市は人口8万人を目標として様々な施策を行い、一步ずつ目標に近づきつつあり、大いに評価ができる。 しかしながら、鹿児島県内外、人口減少はすでに進んでいる。本市の適正人口は何人であると考えるか。 本市の立地条件や人、モノ、産業、自然などから適正人数というものを考え、今後の計画や施策をとるべきだと思うが、見解を問う。 (5) 「デジタルでやさしい街」推進 第3次始良市行政改革大綱の方針に基づき、行政事務及び行政サービスのデジタル化を推進してきていると理解している。 始良市行政デジタル化行動計画には、基幹系20業務システムについて、国の標準仕様に準拠したシステムへ令和7年度（令和8年3月）移行することになっているが、計画通りに進んでいるのか。 (6) 子育て相談体制の充実 様々な子育てに関する相談が数多く来ているが、始良市内の相談状況等について、どのようにとらえているのか。 また、相談に対して解決・完結まで至るものはどのぐらいの割合なのか。 今後の相談体制の充実を図るための具体的な計画等があるのか。 (7) 障がい者・障がい児の自立及び社会参加の支援等のための施策 第3次始良市障がい者計画の障がい者アンケートの結果に、外出時の困りごととして、「歩道、道路、出入口に段差がある」が25.6%と最も高く、次いで、「階段の昇	
--	--	--	--

		降が困難である」の24.1%、「障がいがあることや症状について理解されにくい」の21.5%の順となっている。 障がい児調査では、「乗車券の購入・料金の支払いが困難である」「自分の意思を伝えたり、コミュニケーションをとることが難しい」が37.4%と最も高く、次いで、「障がいがあることや症状について理解されにくい」の34.3%の順となっている。 障がい者・障がい児の自立や社会参加等のためには市民全体の意識や環境の改善等が必要であり、行政支援というよりは市民啓発等が急務であるとする。見解を述べよ。 (8) 未利用市有地の処分 令和7年度始良市一般会計予算の提案理由の中に、未利用市有地を処分し、財政確保を図るとの説明があった。 現在保有する未利用市有地の数や広さ、価値等をわかりやすく示せ。 また、公共施設再配置基本計画のように、未利用市有地の活用や処分に関する方針等を示したものはないか。	
2. 志成会 森川 和美	1. 令和7年度施政方針について	(1) まず最初に、令和7年度の一般会計予算額は382億400万円で過去最高、そして昨年度当初予算額との比較で22億9,100万円の増であるが、中身として点数をつければ何点くらいか。 (2) 市道の補修整備については、年次的な優先順位に従って昨年同様、スピード感を持って集中的に対処するとのことであるが、地域的な公平性、また、幹線道路以外の道路整備にも気くばりが必要と考えるがどうか。 (3) 高等教育機関の誘致に進展があり、4月1日に通信教育部を新たに開学するとのことであるが、場所、規模さらに初年度何人くらいの生徒数になるのか。また、今後の関連する経費をどの程度と見込み進めていくつもり	市長 教育長

		か。 (4) 企業と自治体と締結した災害協定にふれている。多くの企業団体と災害協定を結んでいるが、今までに協定先とどのように関わったか。 (5) 本市は交通の便が良く、県内外を問わず各地から往来しやすい場所に位置している。その利点を存分に生かし、様々なスポーツチーム合宿や自主トレへの場所の提供、またプロリーグの試合誘致、九州大会や全国大会の開催誘致等を展開し、交流人口と関係人口の更なる増加を目指すとするが、そのためには100人200人規模の宿泊施設が必要だが、今後どのように進めていくのか。 (6) 人口8万人目標について、各種施策を全庁横断的に取り組むとのことであるが、中心街や一定の地域に若年層世帯の流入により人口増があるが、将来的にベストであるのか。ただ人口増のみに着目するのは、のちのち様々な課題が生じると考えるが、3世代世帯及びバランスの取れた定住施策が求められると考えるが見解を問う。 (7) ごみ出し困難者支援事業については、今年度実証実験を実施し、令和8年度165万5千円かけて、ごみステーションに搬出が困難な方を対象に、自宅を訪問して収集を行う事業である。今回の実施決断は高く評価するものであるが、具体的な対象者及び収集体制を示せ。 (8) 帖佐駅前広場の整備については、地域住民や駅利用者等から幅広く意見を聴取し、市の玄関口として魅力のある都市空間の形成と交流人口の創出などにぎわいがあふれるまちとなるよう事業を進めるとあるが、アンケート調査はどの程度の人数で世代間における幅広い意見がとれたか。 また、市民が計画案を判断できるよう、実	
--	--	---	--

		物模型等を確認するプロセス等を用い、合意形成を円滑化するべきと考えるが見解を問う。 現在の駅前通りの歩行者、自転車及び自動車交通量の状況と、整備後の効果、状況をどのように試算しているか。 (9) 公共施設の老朽化対策については、あまり言及がなかったが、きわめて重要な項目と認識している。 費用負担に加え、原油価格、資材の高騰による燃料費、光熱水費、委託料などの経費の増加など、多額の財政負担が見込まれている。 物価や景気、賃金上昇、国・県の動向を注視しながら、健全な財政運営に努めるとのことであるが、市の所有、管理運営している公共施設のうち、いわゆる老朽化の目安である大規模改修あるいは建て替えが必要な時期、築後30年以上の施設は現時点で100以上の施設がある。 その中で学校や市営住宅の一部等、築年数が50年以上経ち、今にでも策を講じなければならない施設があり、先送りすればするほど経費がかさむと考えるが、どのような見解と計画、さらに更新費用がおおよそどの程度と試算しているか。 また、優先順位としてはどの施設でどのような方策を講じていくのか。 (10) 公債費、市債について、公債費は令和7年度から9年度、96億400万円、市債は100億8,300万円と令和7年度から9年度までの実施計画を示された。公定歩合が0.5%引き上げられ、さらに引き上げる議論がされているが、今後本市の市債に対する利払いが8年以降どの程度影響があるのか。 また、今後市民サービス低下にならないか見解を問う。	
--	--	--	--

3. 市政クラブ 始輝 桃木野 幸一	1. 施政方針について	(1) 市の今後の行財政運営について 本市においては、市税等の増収も見込まれないなか歳出においては、高齢化の進行などによる社会保障関係経費のさらなる増加や庁舎等の建設に伴う経費の増加に加え原油や資材等の高騰による各種経費の増加など多額の財政負担が見込まれている。 ①健全な財政運営にいかに取り組んでいくか方針を示せ。 ②第2次始良市総合計画の第7次実施計画では企業進出を促進するため立地企業に対し助成を行うため令和7年度7,899万7千円、令和8年度1億8,800万円、令和9年度8,000万円計上しているが内容はどのようなものか示せ。 ③最近3か年の企業誘致数と今後のさらなる企業誘致にどのように取り組んでいくのか示せ。 (2) 高等教育機関の創出について 令和7年度施政方針によると、本市と高大官連携協定を締結している岡山理科大学が、4月1日に「通信教育部」を新たに開学し、そこが「始良サテライトセンター」となり、加治木駅近くに開校することとなったということである。今回、高等教育機関の誘致がひとつ前進したと考えるとのことであった。間もなく「始良サテライトセンター」の看板が加治木駅前に設置され高校生はじめ多くの市民の目に触れるとある。 ①現在、並木学院には、どの位の生徒が学んでいるのか。また、年齢層はどのような状況か示せ。 ②今回の件で、誘致が前進したとあり、多くの生徒が集まり充実する事がいわゆる大学の誘致ととらえてよいのか考えを示せ。 ③今後のサテライトセンターの展開によって	市長 教育長
-----------------------------------	--------------------	--	-------------------

		は、現場所では、運営が困難となる事も予想されるが、どのような対応を考えているか。 (3) 林業大学校の開校について 4月に、蒲生に県立の林業大学校が開講することとなったことは、本市にとって県内外からも若者が集まる等、賑わいも期待され大変よろこばしいことと思う。 ①募集定員や施設運営の体制を示せ。 ②現在の応募状況を示せ。 ③本市の支援体制を示せ。 ④卒業生が本市に就職出来る環境作りにいかに取り組んでいくか考えを示せ。 (4) 総合運動公園の整備について 総合運動公園の野球場関連施設について改修等の整備を行うとあり1,900万円計上されている。 ①具体的に内容を示せ。 ②また、実施計画において、8年度、9年度にそれぞれ8千万円計上されているが内容を示せ。 (5) 駅を中心としたまちづくりについて 実施計画によると、持続可能で強靱な都市構造の再編・活性化に取り組むため、帖佐駅を中心としたまちづくりに令和7年度1,990万円、令和8年度6,820万5千円令和9年度2億7,510万5千円計上されている。 ① 具体的な内容を示せ。 ②2月13日に帖佐駅の駅舎改修整備について JR 鹿児島支社長に要望に行かれたが相手の対応はどのようなものだったか示せ。 ③帖佐駅周辺地区のまちづくりワークショップが開催されて、市外からの移住者も参加され大変盛り上がり活発な意見が出たと聞いている。どのような意見が出たのか示せ。	
--	--	---	--

		(6) 通学路防犯灯設置 市全体を明るく安全な街にという事で通学路防犯等の予算が計上されている。 ①令和7年度の事業内容を示せ ②これまでの実績と未処理件数を示せ。 (7) 市道等の補修整備について 市道の補修整備に令和6年度から予算が大幅に増額され取り組まれていることは評価出来ることと考えるが、様々な要因で老朽化やいたみが散見されている。 ①過去5年間の道路損傷による損害賠償の件数と金額を示せ。 ②スマホによる通報制度が6年度より可能となったが、通報状況と成果を示せ。 ③依然として、予算が大幅に足りないと思われる、自治会長に執行を決定した旨伝えてから、相当期間未施工が数多く存在すると思われる。 現時点でどの程度の件数が有り、どの位の経費が必要と算定されているか示せ。 (8) 公共施設について 「3 今後の行財政運営について」で公共施設については、老朽化対応について記載しているが、限られた公共施設を有効に活用するためには、施設の老朽化対策に加えて、市民が利用できる施設については、開館時間や施設の予約方法の改善なども必要と考えるが、施設の利便性の向上を図る対策は考えていないか。	
4. 市民くらぶ 塩入 英明	1. 施政方針について	(1) 成熟したまちへの成長 令和4年度の施政方針で、これからの10年を「成熟したまちへの成長」を目指す期間にしたいと施政方針で表明された。 令和7年度から4年目に入るが、3つの大きな柱の方針に変わりはないのか。 (2) 重点プロジェクト 過去4年間の施政方針で示された、重点プ	市 長 教育長

		プロジェクトの成果と課題について説明せよ。 (3) 財政状況 厳しい財政状況下での市民参加型のまちづくりは、長期的な視点を持つこと、広い視点を持つこと、同時に中期や短期の目標を設定し、進捗度合いを確認することも重要と考える。 これまで新庁舎建設や総合支所の再編、子ども館の整備など大型事業の実施、また市民サービス向上の施策の実施などがなされているが、各種大型事業の成果と進捗度合い及び財政課題の具体的な解決策について説明せよ。 (4) 協働・自治 ①行政の DX(デジタルトランスフォーメーション)による、行政手続や行政サービスにかかる市民や企業の利便性向上は、誰もがその恩恵を実感できる取組になっているのか。 ②企業版ふるさと納税制度活用の詳細と自治体側のメリットについて説明せよ。 ③帖佐駅を中心としたまちづくりの方向性を模索するため、庁内の若手職員25人によるワークショップが行われている。プロジェクトの進捗状況を示せ。 ④職員向けのワークライフバランスの推進や相談・カウンセリングなどを受けられる環境の充実が求められている。具体的な取組を示せ。 (5) 子育て ①子ども・子育て支援事業の基本理念である「男女が共同し、子どもを安心して産み育て、子どもが健やかに育つまちづくり」の実現に向けた、各種施策及び切れ目ない支援体制の強化・充実が図られている。各種施策の成果と今後の課題について説明せよ。 ②子ども館「ちるどん」は、計画を大きく上回る方々が利用されているが、利用者の気持ちに寄り添った運営に支障が生じていないのか。	
--	--	--	--

		③市内保育所の保育士の確保や定着化に向けた対策及び今後の課題について説明せよ。 ④始良本庁舎の開館と同時に取り組まれている「こどもファスト・トラック」について、市民の理解は得られているのか。 (6) 教育・文化 ①家庭の教育力の向上を目指すため、家庭、学校、地域社会、事業者、市が連携し、地域全体で子どもを育てる体制づくりは、確立しているのか。 ②「サイエンスリーダー養成講座」、「サイエンスあいらんど」等の開催及び子どもたちの科学への興味・関心を高める施策の成果は、市内全ての小・中学校に広まっているのか。 ③特別支援教育の充実を目指すため、一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の更なる推進についてどのように考えているか。 ④いじめ・不登校や問題行動の未然防止等を図るための具体的な方策について示せ。 ⑤幼稚園や学校の樹木管理、緑地環境の計画的な整備と学校等及び周辺住環境の安全・安心対策について説明せよ。 ⑥太鼓踊りをはじめとする地域の伝統芸能の現状と今後の支援の在り方について示せ。 (7) 健康・福祉 ①ライフステージに応じた具体的な健康づくりの取組について示せ。 ②疾病の早期発見のための各種健診、生活習慣病の予防のための健康相談等が実施されている。各種健診の成果と受診率向上など今後の課題について説明せよ。 ③「障がい者・障がい児とその家族が自分らしく暮らし続けられるまちづくり」に基づく障がい者・障がい児の自立及び社会参加の支援等の更なる施策が求められている。総合的な施策の推進について説明せよ。 ④始良市社会福祉協議会を中核的な役割を担う機関として位置付け、成年後見制度の利用促進が図られている。実効性のある施策の取	
--	--	---	--

		組について説明せよ。 ⑤ごみ出し困難者の世帯数はどの程度見込まれているのか、また粗大ごみのごみ出しも対象になるのか。 (8) 産業・交流 ①新規就農者や後継者の確保・育成の具体的な取組について問う。また就農初期における農業経営基盤づくりの支援について説明せよ。 ②「オーガニックビレッジ宣言」による実施計画に向けた取組、推進体制づくりの詳細を示せ。 ③森林環境譲与税を有効活用した様々な取組が行われているが、今後の課題について説明せよ。 ④「桜島・錦江湾ジオパーク」、日本遺産「蒲生麓」など観光資源活用の具体的な取組について示せ。 ⑤インバウンドを含めた誘客の促進と交流人口の増加に取り組む中で、観光公害について検討がなされているのか。 ⑥「薩摩おいどんリーグ」の経済効果について説明せよ。 ⑦合宿・キャンプなどの具体的な誘致活動とハード面のインフラ整備について説明せよ。 ⑧eスポーツを活用した定期的な事業計画があるのか。 (9) 安全・安心 ①自助・共助の防災意識の醸成と市民の防災行動力向上のための具体的な取組を示せ。 ②要配慮者の方々が、安心して避難所生活を送る「福祉避難所」を確保するための課題と今後の支援体制について説明せよ。 ③ウェブ情報システム「災救マップ」の活用は、福祉避難所も対象になるのか。 ④浚渫工事や急傾斜地崩壊対策及び排水機能を高めた排水路の整備については、事業の優先順位があるのか。 ⑤市道の補修整備は、市民の要望も考慮した	
--	--	--	--

		年次的な優先順位になるのか。 ⑥避難所に至る避難道路の指定及び整備については、検討されているのか。 ⑦上水道については、管路網の整備と老朽管の布設替えによる耐震化の進捗状況を示せ。 ⑧重富水道施設の整備の進捗状況を示せ。 (10) 行財政運営 財政負担増が予測される中、市民への説明責任や共創の精神を軸に、実質的な改善策の構築と、市民の皆さまが理解できるように具体的な行政政策が求められる。本市の方針を示せ。	
	2. 公共インフラ整備における DX の推進について	(1) 本市が掲げるSDGs や脱炭素社会実現の目標を踏まえ、DX「建築BIM / 建設CIM」技術を活用した効率的で環境負荷の少ない建設プロジェクトを推進する方針はあるか。 (2) 計画、調査、設計段階からBIM / CIMを導入することにより、その後の施工、維持管理の各段階においても事業コスト削減が期待される。また建設生産システムの各段階において情報を共有することにより、効率的で質の高い管理システムが構築できると考える。さらに防災・減災分野と災害発生時の活用も想定されるが、本市として導入の計画はあるか。 (3) 関係者協議、地元説明会等での3次元モデルを活用した説明は、関係者との理解が促進され、合意形成が迅速化される。反面BIM / CIM 技術は専門性が高く、大手企業に導入が偏りがちであるが、市内中小企業や技術者を対象にした研修や導入支援策を検討しているか。 (4) 始良市が目指す「成熟したまちへの成長」に向けて、BIM / CIM を活用した都市計画やインフラ整備の長期的なビジョンが必要ではないか。	市長 教育長